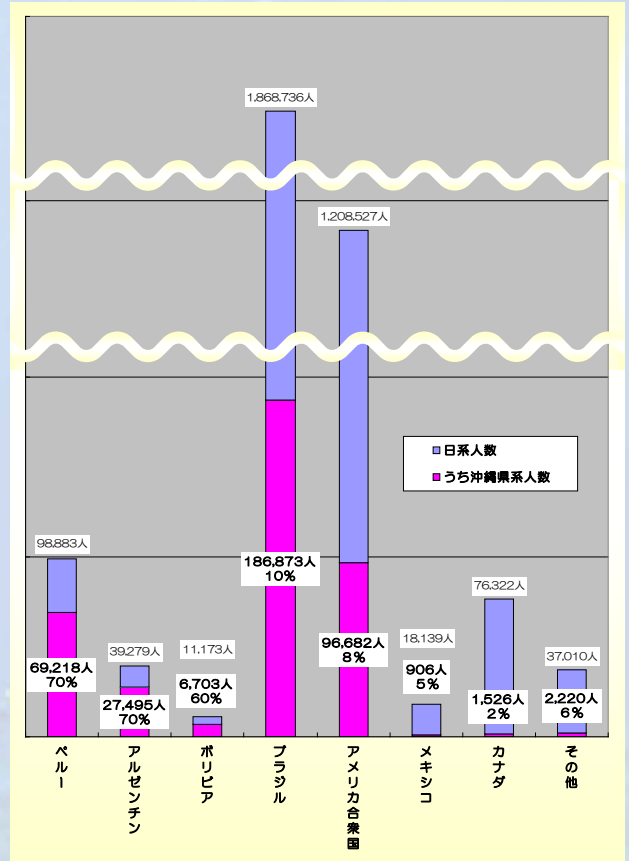
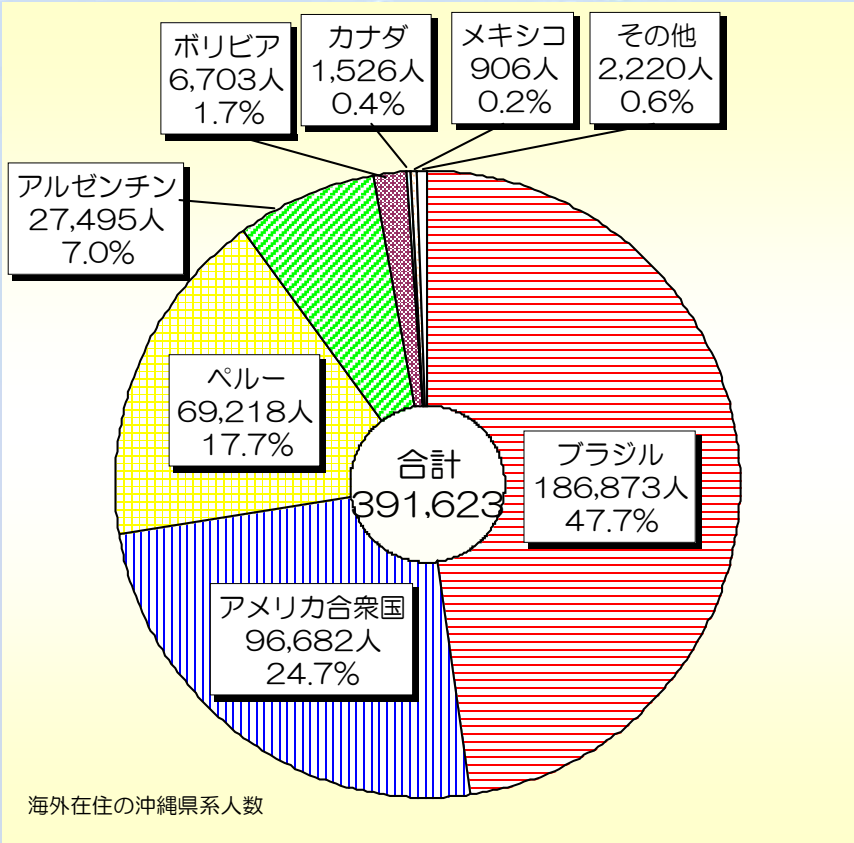




# 沖縄県

## 世界の“ウチナンチュ” !!



2010年度推計値

【資料】沖縄県文化観光スポーツ部交流推進課

海外の日系人社会に占める沖縄県系人数の割合

国内有数の移民県である沖縄県では、戦前戦後を通じて多くの県民が海外へ雄飛し、現在、北米・南米をはじめ、世界各地に約40万人の沖縄県系人が在住しています。

### 【海外在住の沖縄県系人】

平成22（2010）年度の県の推計値によりますと、海外在住の沖縄県系人は、ブラジルが約18万7千人と最も多く、県系人全体の半数近くを占めています。次いで、アメリカ合衆国が約9万7千人と続いています【左図】

次に日系人に占める沖縄県系人の人数割合をみますと、ペルーが日系人数 98,883人 に対し沖縄県系人数が 69,218人 と約7割が沖縄県系人で占めています。アルゼンチンもほぼ同じ割合の7割が沖縄県系人となっています。沖縄県系人数が約18万7千人と最も多かったブラジルは、日系人数に占める割合は1割程度となっています。

【右図】

### 【世界のウチナンチュ大会】

沖縄県が誇る人的財産であるこれら海外県系人の世界的なネットワークの形成を目的として、『世界のウチナンチュ大会』が母県沖縄において、5年に一度のペースで開催されています。（2011年の「第5回世界のウチナンチュ大会」には海外から 5,317人/23カ国2地域/香港・ニュージーランドの沖縄県系人が参加されました）

### 【世界に貢献するウチナンチュ】

1世紀にも及び沖縄の海外移民の歴史の中で、多くの沖縄の先人たちは、移住に伴う数々の困難を、不屈の精神と持ち前のおおらかさで乗り越えてきました。今では移住先社会の構成員として政治、経済、文化、学術等の各分野で活躍しながら、移住先国の開発・発展に寄与し、高い評価と信頼を得ています。

【世界のウチナンチュ】 - 世界各地に在住している沖縄県系人のこと

【イラスト】「アバサンゴ」第32回全国豊かな海づくり大会 ～美ら海おきなわ大会～ のマスコットキャラクター

（名前の由来：「アバサー」と「サンゴ」を合わせた様な姿から名付けられました。「アバサー」とは沖縄の方言名でハリセンボンのことです。）

【背景写真】沖縄観光コンベンションビューロー